

施策 52

基本施策 1 快適で住みやすいまちづくりの推進

計画的な土地利用の推進

めざす姿 (施策の目的)

将来を見すえた計画的なまちづくりが市民との協働により進んでおり、安全で快適な住みよいまちになっています。

現状と課題

府中市都市計画に関する基本的な方針(府中市都市計画マスタープラン)において、地域ごとに、良好な住環境の形成の誘導、商業・業務・サービス機能を中心とした都市機能が集積したにぎわいと活力のある質の高い都市機能の形成の誘導、公園・緑地の整備や機能の維持・向上の促進を図るなどの土地利用方針を定め、土地利用を推進しています。特に、少子高齢化・人口減少、中心市街地等の魅力づくり、交通ネットワークの維持・充実、都市農地を含めた公園・緑地の保全・活用、安心して暮らせる住環境の確保、景観資源の維持・活用、防災・減災などの観点を考慮したまちづくりを進めることが必要です。また、木造住宅密集地域等の課題の対応、府中基地跡地留保地などの広大な未利用地の活用などについては、地域の特性をいかしたまちづくりを進めていくことが必要であり、市民との協働により取り組んでいるところですが、市民意識調査によると、市民と市の協働によるまちづくりに満足している市民の割合が低い水準にあります。今後も引き続き、計画的な土地利用の推進に係る市民協働によるまちづくりを進めていくことが求められています。

施策の方向性

- 府中市都市計画に関する基本的な方針(府中市都市計画マスタープラン)の実現に向けた用途地域等の見直しなどを行い、人口減少や少子高齢化が進行する中でも、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現します。
- まちづくり活動*を担う市民や団体に対し、柔軟できめ細かい支援を行うとともに、地域の特性をいかした住みよいまちづくりを実現するため、地区計画*の決定などを進めます。

指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
地区計画の決定面積(累計)	139.2ha (R6)	221.2ha	地区計画の決定面積(累計)です。
快適で住みよいまちと感じる市民の割合	84.5% (R7)	86.5%	市民意識調査により把握した、本市を快適で住みよいまちと感じる市民の割合です。

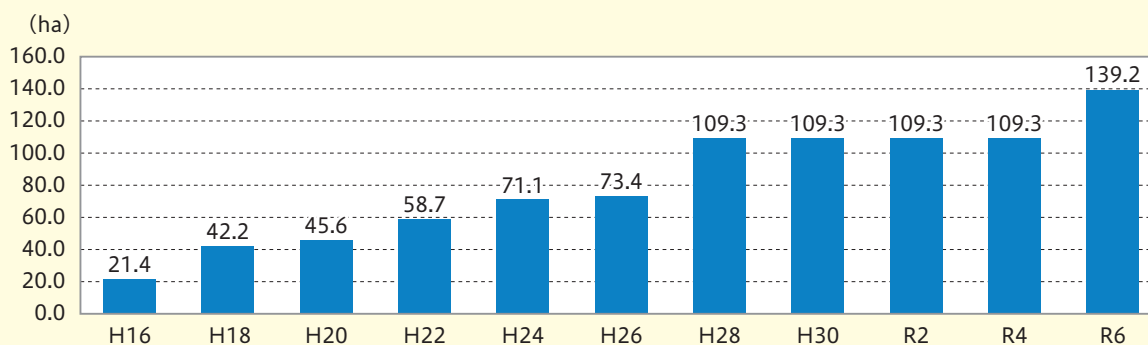
主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
市街地整備計画策定事業	府中市都市計画に関する基本的な方針(府中市都市計画マスタープラン)の実現に向け、府中基地跡地留保地の用途地域等の変更を行うほか、地域の特性をいかした住みよいまちづくりを実現するため、地区計画の決定などを行います。
地域まちづくり事業	市民のまちづくり活動に対するまちづくり専門家の派遣や一部費用の助成等の支援、地域の特性に応じたまちづくりのルール策定などを行います。

協働により推進したい取組

- ▶ まちの特性に応じた市民主体によるまちづくりのルールの策定や、まちづくりに関する意見交換会・オープンハウス等のイベントに関すること。

地区計画の決定面積(累計)の推移



出典: 計画課資料